

快挙！茨城国体の馬術で優勝！（4年次山蔦さん）

9月29日（日）、茨城国体の少年馬場馬術で、本校4年次の山蔦（やまつた）桜子さん（やまづた さくらさん）が、優勝しました。新聞でも大きく報道されました。茨城新聞社様の許可をいただきましたので、ここに掲載します。全国第1位です。茨城国体での本校生の活躍、本当に素晴らしいです。本校生は「本番に強いな〜！」と思いました。おめでとうございます(^_^)

山蔦 愛馬に感謝

責任感を胸に試合に臨んだ馬術少年馬場馬術の山蔦桜子（並木中教校）は初出場の国体で得点率67・67％を記録し、栄冠をつかんだ。競技後、「ありがとう」と愛馬トウルバドールの首筋に抱き付いた。不安を抱えたまま本番を迎えていた。8月下旬から9月上旬にかけてのドイツ合宿から帰ると、馬が言うことを聞かなくなっていた。「うまくいかず落ち込んでいた」。直前の練習でも失敗続き、焦りは募った。

日頃の信頼、栄冠招く

だが、試合では一変した。「（馬が）覚悟を決めてくれた」。普段から試合になると、やるこが分かっている馬だった。多くの観客が見守る会場にやる気になっていた。失敗が多かったという競技場角から中央までを斜めにずれるように動く「ハーパス」も見事に成功させた。動きの正確さが持ち味の2人は一つ一つの動きを丁寧に美しくこなした。中央にヒタリと静止し、競技を終えると馬をねぎらい、安堵の笑顔がはじけた。観客席から送られた拍手にも手を大きく振り、充実の表情を浮かべた。

（志賀敦文）

ヒロイン

少年馬場馬術V



（馬術少年馬場馬術）納得の演技で優勝した山蔦桜子（並木中教校） 水戸農高特設競技場